

2019 第 33 回 NISSAN CUP 神奈川トライアスロン大会

競技運営マニュアル
【TO(審判)用】

第 1.0 版

作成者	技術代表 岩田 聖市
作成日	2019 年 5 月 30 日
最終更新日	2019 年 5 月 30 日

目次

1. はじめに	3
2. 集合場所・時間	
3. タイムスケジュール	
4. 担当業務・留意事項	
5. その他	

■略語一覧

TO	テクニカル・オフィシャル(審判員)
SEA	Swim Exit Assistant

はじめに

エリート	キッズ	リレー	スキップ	パラ選手
有	無 中学生・高校生の部	有	有(リレー) 無(個人)	有

第 33 回 NISSAN CUP 神奈川トライアスロン大会の競技運営をお引き受けいただき、ありがとうございます。当日の運営に当たっては、下記の注意事項をお読み下さい。

・前回(昨年)大会からの変更事項:

- (1) 選手権の部(参加18名(男17 女1)ドラフティング許可レース
- (2) スプリントの入水時間を 5 分シフト(後ろ倒し、ただしスタート時間も変更)
- (3) 一般ウエーブ **3分毎4ウエーブ**(各ウエーブ 75名程度)
- (4) パラ選手(PTS2)のオープン参加対応
 - ・プレランジション設置(椅子x1)
 - ・SEA 2名
 - ・ランジション2m幅確保+椅子x1
- (5) ボランティア人数の削減 (ボランティア配置図、ボランティアマニュアル参照)

大会当日の注意事項

【TOとしての心得】

- (1) 審判員は尋ねられる
 - レース開始時間、スイム、バイク、ランの周回数、トイレ・更衣室の位置、ランジションオープン時間等は確認しておきましょう。選手への最終案内は必読。
- (2) 審判員は見られている
 - 挨拶こちらから選手、関係者へ。言動は丁寧に。業務以外の写真撮影は禁止。
- (3) 持ち場で起こり得ることを事前にシミュレーション
 - 選手が転倒したらどうするか、コースミスをしたらどう誘導すべきか事前に対応を考えておいて下さい。
- (4) ボランティア・警備員といつ、何をしてもらおうのか、意思疎通を図っておいてください。

【服装等】

- (1) 服装: TOポロシャツ(白黒)に 黒のスラックスまたはハーフパンツ。
TOポロシャツをお持ちでない方は、TOベストを着用。
(TOポロシャツの購入、TOベスト借用について県連合事務局までメールで連絡)
- (2) サングラス : 色の薄いものは利用可。
- (3) ルールブック、審判員資格証、筆記用具は必ず持参。
- (4) ホイッスル、イエロー/レッド/ブルーカードをお持ちの方は、持参。
- (5) 透明レインコート等雨具を準備(傘は不可)。TOシャツ・ベストを一番上にする事。

4、大会の概要について

<<https://www.kn-tu.or.jp/2019nissancup-to-info>> を参照ください。

5、前日のコース設営の協力のお願い

大会前日(8 日)にコース設営(10 時~15 時予定)にTL、HRおよび各パートチーフ、本部はご協力ください。

6、連絡先

前日及び当日の連絡先:070-3236-2277(県連合事務局)

集合場所／時間

■大会当日 6月 9日(日)

(1) 集合時刻 5:00／RD(加藤)委員長(高崎)TL(小金澤)TD(岩田)HR(青山)(松村)
本部(杉浦博・真由美)

5:30／スイムチーフ(陣川)サブチーフ(海野)

6:00／各ポジションチーフ、サブチーフ

6:30／全TO

7:15／ボランティア(各パートチーフはボランティアマニュアルに従って引率)

(2) 集合場所 大会本部前

遅れる場合は必ずご連絡をお願いいたします。

大会本部(杉浦 博) :070-3236-2277

タイムスケジュール

1. タイムスケジュール

1、スケジュール

	スプリント/リレー	選手権	一般/リレー
受付	7:45~8:45		
開会式	8:45~9:00	9:35~9:45	9:20~9:30
入水チェック	9:10~9:15	9:55~10:10	11:00~11:25
競技開始	9:20	10:20	11:35 (101~180) 11:38 (181~260) 11:41 (261~340) 11:44 (341~600)
閉会式/表彰式開始	10:50(予定)	15:00(予定)	

2、制限時間

	スプリント/スプリントリレー 中学・高校生、パラ	選手権 一般/一般リレー
スイム	スタートより 45分	スタートより 60分
バイク	スタートより 1時間30分	スタートより 2時間40分
フィニッシュ	スタートより 2時間30分	スタートより 4時間00分

3、距離と周回数

	スプリント/スプリントリレー 中学・高校生、パラ S: 400m B: 20km R: 3km	選手権 一般/一般リレー S: 1500m B: 40km R: 10km
スイム	100m x 2 往復	750m x 2 周回
バイク	6.6km x 3 周回	6.6km x 6 周回
フィニッシュ	2.9km x 1 周回 + 0.1km	3.3km x 3 往復 + 0.1km

※リレーの部に限りスイムスキップを認める。スイム競技の途中リタイア、制限タイムオーバーに関わらず、リレーの部スイム競技制限時間終了後の10:00(スプリント)/12:39(一般)に一斉スタートする。計測は行うが記録は参考とする。

※スイムでは『レスチューブ』の持ち込み装着を許可する。但し、利用した場合(膨らませた場合)はDNFとする。

担当業務

1. 共通事項

- 1) 大会前TO・ミーティング参加
- 2) 競技終了後TO・ミーティング参加、結果報告

2. 個別事項

審判長

- 1) TO統括
- 2) TOMミーティングの招集と統括
- 3) 競技開始前の競技説明（適用する競技規則、ローカルルール、その他注意事項）
- 4) スターター
- 5) 競技記録の承認
- 6) TOMミーティングでの競技規則違反者裁定（警告 / 失格）と公表

スイムパート

※ 水中での活動となる前提で水着やウエットスーツを準備ください。

- 1) 競技開始前の水温・気温計測と報告（8時30分。掲示板にて計測報告）
- 2) アンクルバンド配布、ウェーブごとの整列、スタート位置への誘導
- 3) 入水選手人数確認（計測用アンクルバンド着用の確認）⇒人数確認はカウンタでチェック
- 4) 選手レースナンバー（腕または手の甲）及びスイムキャップ着用確認
- 5) スタート時フライングチェック
- 6) コーナー部ショートカットのコントロール
- 7) 出水選手人数確認（リタイヤ選手、タイムオーバー選手の確認）
- 8) トランジションエリアまでの陸上コース監視（観客のコントロール）
- 9) スイム競技審判
- 10) パラ選手の入水・出水サポートおよびプルトランジションまでのSEA業務

※スイムパート終了後は、昼食の後、ラン・トランジション・フィニッシュ対応をお願いします。

【過去事例より注意事項】

- 1) アンクルバンドを装着してから、トイレや準備不足によりトランジションの方向へ引き返す選手あり。
アンクルバンド配布時に、トイレや準備不足がないかアナウンスを実施すること
- 2) 選手が桟橋から海に入らずスタートが遅れる場合があります。入水を早めに促してください。
- 3) 人工芝がめくれ上がり、選手の足に引っかかる場合があります。

バイクパート ※ 競技用自転車とヘルメットを準備できる方はご用意ください。

- 1) バイク先導、カットオフ対応
- 2) 危険個所(定点)での選手誘導
- 3) 危険走行、ドラフティング、キープレフトの声掛け(罰するより、抑止を心掛ける)
- 4) 体調不良およびリタイヤ選手の確認(アンクルバンド回収)
- 5) 最終選手の確認(無線連絡)
- 6) バイク競技審判
- 7) ホイールステーションの設営・管理・対応(選手権のみ)

【過去事例より注意事項】

- 1) 乗降者ラインの前後の路面状態が悪いため、事前確認を実施して安全対策を施す
- 2) テストコース出入りが要注意です。
陸橋手前でのシフトダウンや、追い越し注意の声掛けを徹底下さい
- 3) 工場内コーナー部は砂や枯葉がたまっている場合、スリップ防止の観点で除去をお願いします。

ランパート ※ マウンテンバイク(または競技用自転車)とヘルメットを準備できる方はご用意ください。

- 1) ラン先導
- 2) 選手、観客の誘導
- 3) 折り返し点 A, B, C、周回チェック(選手が迷わないコース設営)
- 4) 体調不良およびリタイヤ選手の確認(アンクルバンド回収)
- 5) 競技選手のレースナンバー表示の注意
- 6) 最終選手の確認(無線連絡)
- 7) ラン競技審判
- 8) ペナルティボックスの設営・管理・対応(選手権のみ)

【過去事例より注意事項】

- 1) 周回ポイントでの輪ゴム配布
- 2) フィニッシュ、周回分岐での誘導(選手が迷わないコース設営)
- 3) 前あきファスナー付ウェア着用選手がファスナーを下げていた場合、
ファスナーを上げるように伝える。
指示に従わない場合、制止させることでペナルティとする。
- 4) 脱水症状に十分注意。水分補給を促し、話しかけて反応を確認する。
危険な場合、速やかに制止させメディカル対応を要請する。

トランジションパート

- 1) 許可者以外のエリア立入禁止
- 2) エリア内でのバイク乗車禁止
- 3) ヘルメットの確認（規定外のヘルメット使用していないか?）
- 4) ヘルメット・ストラップの着用チェック
- 5) レースウェア及びレースナンバー表示の注意
- 6) バイク乗車ライン/降車ラインでの乗車/降車の注意
- 7) 体調不良、リタイア選手の確認
- 8) ペットボトル装着チェック(専用ゲージでキャップを外していればOK)
- 9) バイク設置向きのチェック、指導
- 8) **リレー部門の選手引継(リレー)の監視**

【過去事例より注意事項】

- 1) レースナンバー、アンクルバンドの付け忘れ確認。ラン移行時レースナンバーは正面
- 2) リレー(S→B): バイク選手は、アンクルバンドをもらってからヘルメットを装着しバイクをラックから外す
- 3) リレー(B→R): バイク選手は、バイクをラックに掛けてから、ヘルメットを脱着し、リレーゾーンへ

フィニッシュパート

- 1) **着順判定**(フィニッシュライン上) 同タイム時の着順判定は目視
- 2) 周回数チェック(輪ゴムの数)
- 3) 「レースナンバーを正面」、「サングラスはずす」の声掛け
- 4) フィニッシュ選手人数 / タイムオーバー選手の集計
- 5) アンクルバンドの回収確認
- 6) 制限時間 スプリント→11:45、一般→15:30

【過去事例より注意事項】

- 1) 着順判定表の準備をする
- 2) フィニッシュ付近で選手が停滞しない導線の設営
- 3) メディア(写真撮影)エリアの設営

その他

- 1) 随時、必要と判断される事項はチーフおよび本部へ連絡のこと。(医師/救急車要請等)
- 2) 注意/警告等に該当するルール違反選手については、レースナンバーの他に時間と場所を記録し、チーフへ報告すること。チーフからHRへ報告すること。
- 3) リタイア時の対応は、レースナンバーと氏名を確認しアンクルバンドを回収する。各パートチーフからHRに報告しアンクルバンドを返却する。
- 4) 公益社団法人日本トライアスロン連合競技規則及び、大会ローカルルールに従い競技する。

事前の競技運営についての質問で情報共有が必要な場合は、下記へメールにてお願いします。

- ① 2019nissancup.to.ml@kn-tu.or.jp
- ② info@kn-tu.or.jp

それ以外での質問は、技術代表岩田(s-iwata1985@mx7.ttcn.ne.jp)へお問い合わせ下さい。